

3年間を振り返って

私は入学する前、玉止めもできないしミシンなんて中学校の授業で触った程度だったので、まさか自分が普通に着られる洋服が作れると思っていませんでした。でも説明会で観た先輩たちのように手作りの洋服でファッションショーがしたい！という思いだけでこの学校に入学しました。

一年生のときはすごくつらくて、慣れないことや初めて習うことばかりで授業に追いつくのに精一杯すぎて何回も普通科にしとけばよかったなーと思いました、、、。

特に浴衣のときは人生で一番辛いかも！というぐらい辛かったです。放課後もやって家に帰ってからもやって、ほぼほぼオールで学校に行く日の繰り返しでした。完成させるためというよりは、先生に怒られないために期限までに間に合わせているという感覚でした。五時までに何とか終わらせなきゃ！！という緊張感によく自分が耐えられてたな〜と今になって思います。

二年生になるとだんだん自分の好きなデザイン好きな色で作れる喜びと、すこしずつ授業に追いつけるようになってきた余裕で、服作りが楽しい！と思うようになりました。

二年生で作った作品はお気に入りのものが多いです。特に楽しかったのは編み物の帽子とマフラーです。最初は全然理解ができなくてやり直しもたくさんしたけどアラン模様の可愛い柄のマフラーは編んでいるときもとても楽しくて学校につけていきたいくらい満足のいくものが作れました。

三年生になっていよいよ自分たちがファッションショーをやる立場になり、忙しくて本当にあっという間な一年でした。チームのみんなで一から考えたテーマは寝れないくらい大変だったけど話し合って試作を作っていくと着実に自分たちの理想のものに近づいていくのがとても楽しかったです。とにかくテーマや自由作品二つ、庶務の仕事、ナレーションなど忙しくはありつつも充実していて本当に自分たちが今まで見てきたファッションショーをやるのだと少しずつ実感していきました。実際にショーをやってみるとありえないくらい一瞬で終わってしまいました(>_<)観に来てくれた家族や友達に「感動した！」と言われたのが本当に嬉しくて、この三年間辞めたいと思うことは何度もあったし泣いたこともあったけどやってきてよかった！と心の底から思うことができました。

この先つらいことがあっても諦めそうな時があってもこの三年間を思い出して乗り越えようとおもいます！！！！佐倉東服飾デザイン科でよかったです（*・ー・*）